

暮らしたいを叶える

地域の魅力や暮らしやすさがアップする取組を後押し

その1 NEWSな取組

若者自身が「若者が集いたくなる街」を創る！



LaLab

若者が集いたくなる空間を創出することをミッションに、令和7年5月にスタートしたラボラトリ（実験室）です。広島県庁会館が中心となり、広島県広島市と連携しながら取組を進めています。主体は若者自身。大学生など20名ほどが、アイデアを出したり、実践して試したりしながら広島都心の魅力的な空間づくりに取り組んでいます。



紙屋町シャレオ内に卓球台を設置しました！

インタビュー

LaLabメンバー 広島大学 小林 大起さん

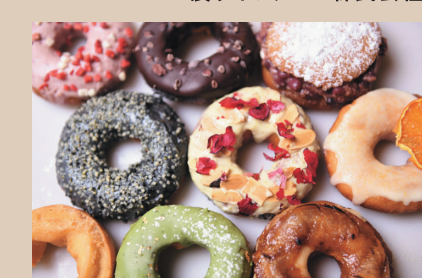


都市計画に関する勉強をしていて、実地でのプロジェクトに興味があったので参加しました。携わったのは紙屋町シャレオ内「広島県会館SHO ROOM」に卓球台を設置する社会実験。1週間の予定でしたが、好評のため常設することになり、手応えを感じました。普段SNSや動画ばかり見ていない若者にとって、スマホを使わない時間は魅力的だと思えます。今後そういう場所や掛けを生むしていきたいです。

注目！ この取組が大賞に選ばれました

「小さな田舎から大きなおいしいを届ける挑戦」

農ライファーズ株式会社



平成30年の西日本豪雨で故郷・竹原市田万里町が被災したことを機に、代表の井本喜久さんは田んぼの再生に力を注ぎました。東京から故郷にUターン後の令和5年には、米粉ドーナツ専門店とファームステイの宿「田万里家」を開業。人口300人ほどの限界集落に、年間約3万人が訪れる人気拠点へと成長しました。事業展開のほか、農村の魅力を世界中に発信中。



その2 NEWSな取組

中山間地域のGOODなモノを未来につなげる！

ひろしま里山グッドアワード

知りたいを叶える

若者が地元企業と共同で実践的に学べる場を提供

その1 NEWSな取組

高校生と地元企業が「AI」をテーマに探究！

ひろしまAI部



知りたい

働きたい

暮らしたい

若者の「〇〇したい」が叶う広島へ



広島県では、「若者の未来を切り拓く」をテーマに、若者が「暮らしたい、知りたい、働きたい」と思える地域づくりに取り組んでいます。本特集では、「暮らしたいを叶える」「知りたいを叶える」「働きたいを叶える」という3つの視点から、現在推進中の「NEWSな取組」にクローズアップ。さまざまな施策を通して、「〇〇したい」という希望や夢の実現を応援します！

働きたいを叶える

若者が未来に向かって挑戦できる環境の整備や支援

その1 NEWSな取組

若者がチャレンジできる環境をクリエイト！



広島県 人的資本開示ツール

働く人を「資本」と捉える「人的資本経営」を進めるため、広島県は全国で初めて「広島県人的資本開示ツール」を開発しました。スキルアップや育休取得率など、働きやすさに関する情報を整理して「見える化」しています。働き手は「自分の考えに合うか」を事前に知る手助けとなります。安心して働く場を選ば後押しとなる、心強い仕組みです。

その2 NEWSな取組

社会のリアルな課題解決に挑む人を育てる！

観光学 共創プロジェクト

令和3年に開学した県立の観光学大学では、企業・教員・学生がチームを組み「実際の企業課題に挑む」共創プロジェクトを展開。授業での学びを土台に、実践の場で学生は社会のリアルな課題に向き合いながら成長しています。企業からも「学生の発想が新しい気付きを与えてくれる」と好評。課題解決力を育む、良き学びの場となっています。

注目！ 共創プロジェクトがきっかけ！

「環境配慮型 テイクアウト包装技術を学食でテスト導入」

株式会社シンギ × 観光学



令和6年度に株式会社シンギ（広島市）と協力し、環境にやさしい食品包装技術「シュリンテックエコ」の普及と活用を検討。容器をフィルムで密封し、プラスチック製のフタを使わずに済むというものです。プロジェクト終了後も学生が主体的に動き、学内食堂のテイクアウト容器として導入。環境に配慮した食のスタイルを広げようとしています。



その2 NEWSな取組

「農業を始めた」という若者をサポート！

新規就農者育成

広島県では、新規就農者が安定した農業経営をできるように、市町・JAなどと連携して様々なサポートをしています。就農相談窓口のほか、低利または無利子での融資、

機械・設備導入にかかる経費の補助、経営が軌道に乗るまでの資金補助などもあり、また、「ひろしま農業経営者学校」には経営規模やニーズに応じたコースが設定され、農業経営について段階的に学べます。

農業に携わる人への支援が充実している実感

インタビュー

株式会社仁井農園 代表取締役 仁井 慎介さん



18年ほど前23歳で農業をスタート。私の農園がある庄原市西城町はそけい栽培に適した高冷地で、柔らかくてみずみずしい夏ネギを「ハコネネギ」として出荷しています。家族経営でしたが父が体調を崩したことをきっかけに従業員の雇用を考えた。

え「ひろしま農業経営者学校」で学び、今も定期的に活用しています。このほかチーム型支援や農業生産工程管理（GAP）など組織として機能するためのサポートが色々とあって、助かっています。

